

令和4年度



大徳誌

目次

育友会会長	P. 1
校長先生	P. 2
教頭先生 ・ 主幹教諭	P. 3
見守って隊.....	P. 4
執行部	P. 5～7
野郎会	P. 8～9
学級委員会	P. 10～11
広報委員会	P. 12～13
厚生委員会	P. 14～15
ほほえみ学級委員会	P. 16～20
地区委員会	P. 21～23

「感謝の心」

大徳小学校育友会会長 美本 育弘

令和4年度を振り返って、多くの方々の力を借りながら1年間育友会活動を行う事が出来ました。残念ながら今年度もフェスタ大徳は中止となりましたが、野郎会や各委員会の協力を得ながら、イワナつかみや逃走中、コースター作り等を行う事が出来、参加した子供達の笑顔を見て嬉しくなりました。この子供達の笑顔を見る事が出来たのは、日々育友会活動や行事にご協力頂いている皆様のお陰であると感じています。

今年度、育友会会長を務めて改めて感じた事は、育友会に関わる皆様への感謝でした。子供達が笑顔になる活動や、楽しく学校に通う事、安全に登下校出来る事。これらは全て、保護者の皆様、地域の皆様、小学校教職員の皆様の協力があったからこそということを改めて実感いたしました。

私自身まだまだ未熟であり、皆様にご迷惑をおかけする事も多々あるかと思いますが、子供達が将来「小学校時代楽しかった」と笑顔で思い出話が出来るように、子供達が楽しく、思い出に残るような学校生活を送ることができるよう皆様のお力をお貸してください。

大徳小学校育友会に関わる全ての皆様に感謝の心を持ちながら、来年度も活動していきます。

令和4年度、ご協力頂きありがとうございました。

令和5年度も引き続きご協力よろしくお願い致します。

感謝

「育友会の力」

大徳小学校 校長 島倉 晴信

令和4年度、本校は創立150年という大きな歴史の節目を迎えました。

その年に校長として立ち会えたことは、本当に幸せなことだったと感じております。同時に多くの皆様方と子どもたちに感謝の気持ちでいっぱいです。

コロナ禍でいろいろな制限がなされての教育活動が続く中、全校での航空写真撮影は子どもたちにとって、この時しかできない大きなイベントです。一人一人が役割を担い、協力して創りあげた小学校生活の思い出に残る一コマになったことと思います。

ご縁あって、音楽科の青島 広志先生に大徳っ子の歌として「大徳っ子は世界に」の記念歌をつくっていただきました。校内のあっちこっちで子どもたちが自然と歌っている。習い事の帰り道に友達と歌っている。そんな光景がたくさん見られました。お家のお風呂で兄弟で歌う子がいるなんて声も聞きました。まさに自分たちの学校に愛着を持つ気持ちが高まっていったと嬉しく思います。

記念式典では、その歌を合奏や合唱で地域の方々にも披露することができました。コロナ禍の社会状況から、地域の方に足を運んでいただいたのは3年ぶりです。地域の方々からは「子どもたちのすばらしい姿に感動と元気もらった」「この子たちがこの地域にいてくれる将来を考えると頼もしい」など、たくさんのありがたいお言葉をいただきました。

ご来賓としてご臨席いただいた村山 卓 金沢市長様からは、「大徳小の教育力のレベルの高さを感じ取らせていただいた」との最高の賛辞をいただきました。

さて、このようなすばらしい150周年事業は、この社会状況の中でありながらどうして成し遂げることができたのでしょうか。そこには、本校育友会の大きな力があつたからこそ強く思います。

子どもたちの教育は、単に学校だけで成り立たないものです。家庭の力や地域の力とともに、子どもたちを育てていくという視点に立った学校づくりを心がけることは極めて重要なことと考えています。それには、学校・家庭・地域（社会）が、それぞれ適切な役割分担を果たしつつ、相互に連携して行われることが大切です。

その家庭の力を集めた組織が育友会であると考えています。この150周年事業の航空写真、記念歌、記念式典、記念誌のいずれもが育友会の方々の力があつたからこそであり、そのおかげで教職員が教育活動として進めることができたと実感しています。まさに子どもたちの健やかな育成は学校・育友会との連携・協力なしには成し得ないことを、この大きな歴史の節目に改めて大切であり、証明されように私は捉えます。

本校育友会は、学校と家庭が相互の教育について理解を深めあい、その充実に努めるとともに、学校と家庭、さらには、地域（社会）を結ぶ懸け橋として役割を担い、子どもたちの健やかな成長を願い、その時々に合わせて様々な活動を展開してきました。その育友会の歴史が現在の本校の教育活動の力となっている。そのことに、感謝したいとの思いを綴らせていただきました。

今後も育友会の力と学校の力、そして地域の力を合わせながら、大徳小学校の文化を生み、大徳っ子を育てていきたいと思います。

社会に開かれた教育課程

教頭 山井 貴嗣

大徳っ子は、日々の学習活動を中心に、行事や委員会活動、たてわり活動などの取組を通して、考える力を伸ばし、また、集団生活の中で大切なあいさつや正しい行いを身につけています。成長著しいその姿を見ると、「大徳っ子は世界に」の一節「大徳っ子は空にはばたく 世界中の大空に～」を想起します。

昨今の短期間で急激に変化するようになったグローバル社会においては、新しい時代に応じた考えをもつこと、または既存の考えを応用しながら、新しい価値を生み出すことが大切になります。そのためには、与えられたペーパーテストで百点をとることよりも、新しい時代やその時に置かれた状況に応じて、課題を自分で見つけ、どこにも書かれていない解決策を考え出し、実際に解決できる力の方が必要になるのではないかと考えます。

このような次代を担う子どもたちを支えるために、学校という場においては、指導要領が示している「社会に開かれた教育課程」の視点で、教職員、保護者、地域が一体となって協働で子どもを育てることの意義が一層重視されるようになりました。

育友会には、150周年記念式典とその関連事業で多大なご支援をいただき、子ども達も豊かな体験を重ねることができました。また、イワナつかみや資源回収などの一つ一つの取組を通して、学校と協働して児童を育てていただいたことに感謝いたします。

記念すべき 150 周年の年

主幹教諭 岩田 史朗

本年度は、記念すべき 150 周年の年でした。この機会につくられた「大徳っ子の歌」は、これからも大徳小学校で歌い続けられていくことと思います。また、12月には、150周年記念式典が開催されました。素晴らしい式典となり、子ども達は歴史ある大徳小学校を誇りに感じたに違いありません。

150周年を記念する様々な企画の準備にあたり、育友会の皆様と、何度も打ち合わせを行わせていただきました。打ち合わせでは、毎回、忌憚のない意見が交わされました。その度に感じたことが、150周年という節目を、子ども達のよき思い出にしたいという育友会の皆様のお気持ちでした。そのお気持ちが形になったのが、「大徳っ子の歌」であり、150周年記念式典であったと感じております。

150周年を記念する企画だけでなく、運動会やマラソン大会等、様々な場面で育友会の皆様、地域の皆様のお力をお借りしました。本当にありがとうございました。来年度も、子ども達の成長のため、育友会の皆様、地域の皆様と手を取り合っていけたらと思います。どうかよろしく願いいたします。

R4年を振りかえって

見守って隊代表
上野 忠信

見渡す向こうの角に、黄色の帽子が見え隠れする。が、中々近づいてこない。
一緒の仲間とはどんな会話を楽しんで歩んでいるのだろうか。
今日の学校での出来事か。またまたゲームの事なのか。突然走り出したりもして、少しづつ近づいてくる。子供たちは元気がいい。活発だ。

マスクの着用、様々な行事の縮小や中止に追い込まれて、三年間が過ぎた。その間、
子どもたちにはずいぶん不自由な生活が強いられました。しかし、徐々にそれらの緩和の兆しが見えてきました。

猛暑、厳寒の中での登下校でも変わらず元気で、我々がそのエネルギーを分けてもらっているように感じます。

大徳小学校は本年度、創立150周年の節目を迎え、その式典も挙行されました。

長い歴史の継続は地域の誇りです。守り続けていただいた先人たち、ご父兄方々の大徳っ子に対する根強い愛情とご理解の賜物と思います。

我々も大徳っ子からもらったエネルギーで更に安全、安心を提供できるよう活動を続けてまいります。



大徳小学校育友会執行部

実行委員会 執行部

(会長、副会長、庶務、会計)

運営委員会の委員長・副委員長

野郎会代表・副代表

見守って隊代表・副代表

学校長・教頭・教職員

運営委員会 学級委員会

広報委員会

厚生委員会

ほほえみ学級委員会

地区委員会

特別委員会 野郎会（父親の会）

◆会員数：647名（保護者：608名、教職員：39名）

◆令和4年度活動テーマ

繋ごう！だいとく！

◆主な年間行事

- ・クリーンキャンペーン（早朝校下美化運動）
- ・家庭教育学習、ベルマーク運動、学級活動、広報誌発行、資源回収
（フェスタ大徳は感染予防の為中止となりました。資源回収は規模を縮小し開催しました）

◆一人一役運動（育友会会員全員参加）

- ・クリーンキャンペーン街頭指導
- ・資源回収
- ・プール当番 ☆感染予防の為中止
- ・フェスタ大徳 ☆感染予防の為中止
- ・安全当番





校内での主な活動



大徳っ子の歌を式典にて歌いました♪

☆創立 150 周年記念で…
イメージキャラクターを児童に公募し
選出“さくちゃん”誕生！
全児童と先生にてドローン撮影
大徳っ子の歌の作成を依頼



運動場でドローン撮影した画像
が下敷きとクリアファイルになり
ました！



ドローン撮影会社からのプレゼ
ントの横断幕(^)/



実行委員会は毎月開催しています。

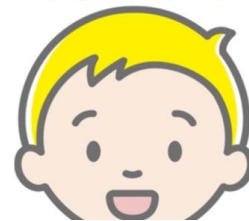


さくちゃん饅頭も作ったよ♡



運営委員と保護者を中心にクリーン
キャンペーンを行いました。

スクリレ



育友会からのお知らせを配信す
るシステム“スクリレ”を導入し
ました。

🌸 校外での主な活動 🌸

- 4月 大徳地区三校合同情報交換会 ★
金沢市P T A定期総会
- 6月 石川県P T A指導者研修会
金沢市P T A役員研修会
学校運営協議会
- 9月 大徳地区三校合同情報交換会 ★
- 10月 日本P T A山形大会 ★
金沢市P T A臨時会長会議
- 11月 金沢市P T A研究大会
石川県P T A大会 ★
- 12月 金沢市P T A第7ブロック研修会 ★
金沢市P T A役員研修会 ★
- 1月 大徳地区三校合同情報交換会 ★
金沢市P T A役員研修会 ★
- 2月 学校運営協議会
金沢市P T A役員研修会 ★
金沢市P T A新春懇親会 ★



★印は感染予防の為に中止、もしくは動画配信等に変更

野郎会活動報告

野郎会代表
柏本 裕昭

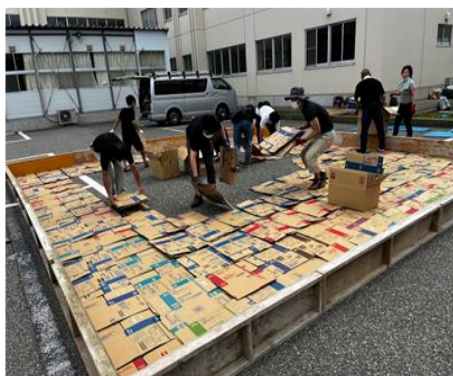


「子どもと世界を変えていく」そんなスローガンのもと今年度の野郎会活動をスタートさせました。コロナによって大きく変わってしまった世界を少しずつでも元の世界に変えていきたいという思いを込め、子供たちはどんなことをすれば喜んでくれるかみんなで見出しながら悩みながら活動していきます。



3年ぶりのイワナつかみ(6月)

まずは「イワナつかみ」の復活です！3年ぶりという事で野郎会メンバーみんなで見出しながら準備を行い、何とか開催することができました。当日は晴天にも恵まれ約350名の子供たちが参加してくれたこと本当にうれしく思います。



イワナのいけすはこんな感じで作成しています。お父さんたちが汗を垂らしながら子供たちの喜ぶ顔を想像しながら頑張って作ります。3年ぶりだったという事もあり、ところどころミスもありましたが、ヨーヨー釣りやミニ四駆など新しい試みも加えながら進化したイワナつかみになったのではないかと思います。来年度一緒に主催者側になってみませんか！？

金沢城リレーマラソン(10月)

野郎会メンバーの絆を深めるため、金沢城リレーマラソンに参加しました！メンバーが必死になってタスキをつなぐ姿はとてすがすがしいものでした。そしてこれは後に開催する初のイベントへの布石だったことを、この時はみんな知らなかったはずです。



逃走中(3月)

野郎会として初の試み、逃走中。企画段階からメンバーとアイデアを出し合い、ストーリーやミッションなど子供たちが喜んでくれるような内容を考えました。もともと12月開催予定でしたが天候に恵まれず残念ながら延期。しかしながら3月にリベンジ開催し、大盛況のうちに幕を下ろしました。来年度以降も野郎会の恒例イベントとして根付いていくことを願っています。



「野郎会」ってことなところ

1998年に産声をあげた大徳小学校「野郎会」。今年で25年の節目を迎えました。コロナ禍で2年間活動が停滞していましたが少しずつ動き出しました。野郎会は季節ごとに子供たちと一緒に楽しめる行事を企画し思いっきり遊ぶボランティアの会です。少しでも興味を持っていただいた方、我々と一緒に活動しませんか？来れるときだけの参加でもOKです。人見知りの方でも大丈夫です。皆様のご入会心よりお待ちしております。

学級委員会

◆ 活動内容

- ・年3回（4月・9月・1月）の学年・学級懇談会の運営及び報告書の作成
- ・フェスタ大徳での食堂運営
- ・PTA 研究大会の参加
- ・次期運営委員の選出

◆ 令和4年度 活動テーマ

一人一人が安心して、自然に笑顔が溢れる楽しい学級（クラス）作り

◆ 令和4年度 活動報告

【今年度】

- ・4月時学年懇談会の運営及び報告書の作成
- ・金沢市 PTA 研究大会の参加

【今年度中止となった活動】

- ・9月・2月時の懇談会及び報告書の作成…コロナ禍の為授業公開のみ。
- ・フェスタ大徳での食堂運営…コロナ感染拡大防止の為。
- ・次期運営委員の選出…昨年度より執行部に業務移行。



◆活動詳細

学級委員会では、懇談会を有意義なものにする為、事前に先生方と委員が懇談内容を話し合ったり、学校全体でテーマを提示したりと準備をしています。

コロナ禍という事もあり、委員同士のコミュニケーションが難しく、LINEの機能を活用し、懇談会の準備を進めてきました。また、昨年度より委員活動の中の一人一役として、1年生の懇談会及び報告書の作成を2～6年委員に持ち回りで行っていただくことと致しました。1年生の先生方にもお手伝い頂き、全学年懇談会を無事開催することができました。

今年度も昨年度同様、懇談会の開催が1回のみとなりましたが各学年において多くの保護者の方にご参加頂きましたことに感謝申し上げます。

◆一年を振り返って

コロナ禍3年目の学校生活は、前年同様、制約の多い1年間でした。年間を通して、授業参観、ならびに学級・学年懇談会が制限されたこともそのひとつです。そのため、子ども達の学校での様子や帰宅後の様子を情報交換したり、成長の実感や不安等を共有したりすることが、なかなか難しかったと思います。

そのような状況下でありながら、子ども達の学校生活を温かく見守り、励まし、勇気づけて下さった保護者のみなさまには、大変感謝しております。1年間、本当に有難うございました。

学級委員担当 曾良 大貴先生

今年度も昨年度同様、コロナに振り回された一年となりました。学級委員の活動はほぼ行えませんでしたが、しかしながら新様式での生活の中で先生方の多大なるご尽力もあり、昨年よりも学校での子供達の様子を見る機会も増え、また復活した行事も増えてコロナ禍の中でも元気に日々を過ごしている姿にうれしく思いました。育友会の一員として、今年度を乗り切れたのは活動に関わって下さった全ての方々のおかげです。本当に有難うございました。

来年度は今年度よりも復活する行事が増え、子供達にとって沢山の楽しい思い出が残る学校生活が送れるよう切に願います。本当にありがとうございました。来年度もどうぞよろしくお願い致します。

令和4年度 学級委員長 本間 紗織
副委員長 駒澤 やよい
副委員長 石本 由香

広 報 委 員 会

■ 活動内容

広報誌の発行を通じて、育友会の活動及び学校生活やイベント時の子どもたちの様子を、保護者・学校関係者・地域の皆様にお届けする。

WEB版広報誌『だいとくこの部屋』の更新、育友会ホームページからもイベント等の様子をお伝えする。

■ 令和4年度 活動テーマ

新しい風 手を取り合って 一歩踏み出す 広報活動

■ 令和4年度 活動報告

4月 年間計画策定

5月 年間計画見直し（コロナ影響考慮）

2月 広報だいとく 164号発行

<掲載記事>

4月 令和4年度 入学式

5月 大徳小学校運動会

6月 5年生宿泊体験学習

9月 連合体育大会

10月 秋の遠足・歴史探訪
連合音楽会

11月 マラソン大会

6年生宿泊体験学習

3月 広報だいとく 165号発行

<掲載記事>

2月 6年生を送る会

その他 6年生 将来の夢

■ 活動詳細

今年度は、コロナ禍ながら感染対策を徹底し、県内の感染状況を合わせながら行事が開催される。

<1 学期>

入学式、運動会、5年生の宿泊体験学習が行われる。

6年生の宿泊体験学習が新型コロナウイルスの感染拡大により延期となる。

例年発行される先生紹介であるミニだいとくを発行。

<2 学期～>

主な行事の取材と広報誌の原稿作成、『だいとくっ子の部屋』に掲載するコメントを作成する。

連合体育大会、連合音楽会、秋の遠足・歴史探訪、マラソン大会などの行事が開催される。

感染状況が落ち着き、6年生の宿泊体験学習が実施される。

フェスタだいとくは、新型コロナウイルスの感染状況を鑑み中止となる。

<3 学期>

広報だいとくの発行

(主な行事の掲載)

(6年生の夢を紙面に掲載、6年生を送る会の様子を取材・掲載)

■ 1 年をふりかえって

今年もコロナ禍ではありますが、昨年は中止となっていた行事が開催されることもありました。

より多くの行事に参加し、子ども達がのびのびと活動できる機会も多くあったのではないのでしょうか。

初めての委員長・副委員長という役職で、至らない点も多く反省もある 1 年でしたが、皆様に支えていただきながら、なんとか 1 年を終えられそうです。

今年度の広報活動に関わってくださった全ての方々に心より御礼申し上げます。

1 年間、本当にありがとうございました。

令和 4 年度 広報委員長

濱井 里早

副委員長

河原 千佳

副委員長

山下 えりこ

厚生委員の活動について

厚生委員長 田原 友美

厚生委員のメイン業務は、「ベルマーク活動」です。
ベルマーク活動は、5月・9月・1月に回収、集計作業を行いました。小さなベルマークを集め、集計する作業は大変ですが、現在「ウェブベルマーク」という安全で効率的な新しいベルマーク活動があります。この活動を通して、効率的にだいとくっ子にプレゼントを送れたら素敵ですね！



『ウェブベルマーク』を貯めて

だいとくっ子にプレゼントをしよう

日頃より育友会の活動にご協力・ご支援ありがとうございます。
コロナ禍でも安心・安全・効率的なウェブベルマーク運動のご理解・ご協力を、よろしくお願いします。

ウェブベルマークを実際の使用例で紹介



Rakuten

楽天市場で、日用雑貨を8,000円で購入しました。
購入金額の0.4% 32円が、楽天から大徳小へ自動加算されました。

JTB

コロナもちょっと落ち着いてきたので、家族旅行をネット予約しました。
50,000円の旅行代金で、0.85%の425円がベルマークポイントで貰えました。



すごーい!!

協賛企業から自動的にポイント貰えるんだね！
これは、逃すなんてもったいない！
ネットでお買い物する前には、事前登録とちょい寄りだね！！

まずは登録

マイページ登録画面



QRコードを読み取って
本人確認用アドレスを
入力 > 送信



URLを
タップ

届いたメールのURLに
アクセスして
登録をスタート！



ニックネーム
パスワード
大徳小学校を指定
その他

自動的に
支援するよ

必要事項を入力
学校を検索・指定して
登録完了！

住所・本名など個人情報の登録は、不要です。

ネットでお買い物する時



ウェブベルマーク
サイトを

ちょい
寄り



いつものショップ
でお買い物

ショップポイントも
ベルマークも
両方もらえるよ！！



自己負担は、ありません。
お買い物情報も、一切もれないので安心です。

協賛企業
130店
以上

Rakuten

YAHOO!
ショッピング

JTB

ふるなび

ぐるなび

協賛企業は、どんどん増えています。130社以上あります。

ネットショッピング前には、初回の【登録】と、ウェブベルマークサイトへの【ちょい寄り】をお願いします。ウェブベルマークのサイトではこれまでに集めた点数や、自分のランキング、学校ランキングなどをいつでも見ることができます。

現在大徳小学校の登録数は、県内2位です。ですが登録数は、たったの100人程度です。

今後とも登録数を増やしていきたいですね。

ベルマーク5月分	¥63,478
ベルマーク10月分	¥26,689
ベルマーク1月分	¥15,925
ウェブベルマーク(登録数:108人)	¥7,032
合計金額	¥113,124

ベルマーク商品の購入

集まったベルマークで、
現在3面のクライミングウォールに
1面を追加購入予定です。
みんなで体を動かして、
たくさん楽しんでもらえたら嬉しいです。



一年間を振り返って

厚生担当 宮下 智子先生

いつもベルマークの収集にご協力いただき、ありがとうございます。

今年度は、ベルマークでクライミングウォールを購入していただくことになりました。念願だった4面のクライミングウォールが1階体育館に揃うことになり、児童たちは、仲良く楽しく遊ぶことができそうです。本当にありがとうございました。

引き続き、来年度もご協力よろしくお願いします。

厚生委員長 田原 友美

初めての委員長という大役でしたが副委員長ならびに委員の皆さんのご協力のおかげで、無事に今年度の活動を終えることができました。皆様、一年間ありがとうございました。

家庭と仕事を両立している人も多い中、子どもたちのために何かできることはないかと考え、自宅での活動が多い厚生委員の仕事を選ばれる方も多いのではないかと感じています。今後は少しでも効率よく、無理なく活動していけることを願います。

令和4年度

ほほえみ学級委員会活動報告

第1回 野郎会・ほほえみ学級委員会共同企画

イワナつかみ大会



《日時》 6月19日(日) 10時~12時
《場所》 大徳小学校駐車場
《参加人数》 大人243人、子ども303人

大徳小学校野郎会が開催していた初夏の風物詩『イワナつかみ大会』を、今年はほほえみ学級と共同企画で3年ぶりに開催しました。

コロナ禍のため、イワナの塩焼きはイベント終了後にお渡しする方式としました。

【参加者の感想】

- ・初めて参加しましたが、子供達の生き活きとした表情を見て、来年も参加したいと思いました。
- ・最後にプールで遊ばせてもらえて、大はしゃぎしてました。
- ・後半の子供たちも元気なイワナをつかみ取りできるように工夫したら良い。
- ・待ち時間もヨーヨーで遊べたのでよかったです。
- ・準備から運営、片付けまで暑い中お疲れさまでした!!! やっぱりすごくいいイベントだなと思いました!



第2回 ほほえみ学級

金沢の伝統文化に触れる 麩細工制作体験

《日時》	9月23日（金・祝） 10時～12時、13時30分～15時30分
《講師》	宮内 由紀子 氏（加賀ふ細工 英）
《場所》	1階 集会室
《参加費》	1組 200円
《参加人数》	大人20人、子ども30人

コロナウイルス感染拡大により7月から9月に延期しましたが、加賀麩の中でも見た目もかわいらしく華やかな飾り麩を使ったアクセサリーを、講師の方に教えてもらいながら作りました。

【参加者の感想】

- ・加賀麩のこともはじめて知れ、かわいいイヤリングとヘアピンを作ることができて楽しかったです。
- ・細かい作業も多く、手作りされている作家さんの大変さや楽しさなどもこの体験を通して感じることができました。
- ・最初に作業の流れとかポイントなどの説明があると戸惑わずに出来たかな…と思いました。
- ・かわいいイヤリングができて、私も娘も満足でした。ありがとうございました！



カッパと
一緒に

第3回 ほほえみ学級 コースターを作ろう！

《日時》 11月13日(日) 10時~12時
《講師》 美本 育弘 氏(育友会会長)
《場所》 1階 集会室
《参加費》 1組 200円
《参加人数》 大人11人、子ども18人



キラキラで透明感のあるガラススタイルを組み合わせ、目地材にセメントを使い、(なぜか)カッパの着ぐるみとくまのプーさんの着ぐるみを着た講師陣に教わりながらコースターを作成しました。

【参加者の感想】

- 子供と一緒に出来て楽しかった。
- 募集人数が少なく、抽選になるので、申し込んでも参加出来ないと残念だと思う。
- 上手く作業が進まなかったとき、役員さんのさりげないフォローをしていただきとても助けられました。楽しく制作をしようという雰囲気もとても良かったです。



第4回 ほほえみ学級

金沢の伝統文化に触れる 和菓子作り体験

《日時》	12月4日（日） 10時～12時
《講師》	村上 義明 氏（御菓子処 美福）
《場所》	3階 家庭科室
《参加費》	1組 200円
《参加人数》	大人19人、子ども19人

金沢の1世帯当たりの和菓子の購入金額は全国1位！講師の方に教えてもらいながら、お正月に向けての紅梅と、クリスマスに向けてのかわいいサンタさんの上生菓子を作りました。非常に多数の参加の応募をいただき、和菓子作りの人気をひしひしと感じました。

【参加者の感想】

- 普段体験できない貴重な機会で、季節感もあり良かったです！職人さんの技に感動しました。
- 子どもたちが懸命に楽しむ姿がとても微笑ましくて良かったです♡
- 和菓子づくりは、親子の体験にもってこいだと思います。作る個数もひとり2個で、比較的簡単に短時間で可愛く作れてちょうど良かったです。



ほほえみ学級で 今後やってほしい企画

アンケートでいただいたご意見から、一部をご紹介します。

- 金沢の伝統に触れられる企画、加賀毛針や九谷焼など石川県の文化に触れるようなモノづくり
- 防災訓練
- 親子で身体を動かす機会
- アクセサリーなどのモノづくり、工作系、動くおもちゃ
- SDGs にちなんだ制作や活動
- 和菓子の企画をまたしてほしい
- クリスマスリース作り、しめ飾り作り、寄せ植え（多肉植物）、トールペイントなど、形に残るもの、トントゥ作り



一年間を振り返って



今年もいろいろと制限がかかる中でしたが、活動が少しでもできてよかったなと思います。来年度も思うような活動ができないこともあるかもしれませんが、1 つでも 1 人でも楽しい活動ができることを願っています。

ほほえみ学級委員担当 野村 重光 先生

今年度もコロナ禍での活動となり、工夫が必要でしたが、講師の方をお呼びしての活動もでき嬉しく思っています。

参加者の方からたくさんの笑顔と、たくさんの元気をもらえた 1 年間でした。また、初めての委員長ということもあり、至らない部分も多々ありましたが、たくさんの方の支えによって何とか活動を終えることが出来ました。この 1 年間関わってくれたみなさん本当にありがとうございました。

来年度からもほほえみ学級をよろしくお願いします。

ほほえみ学級委員長 細谷 愛莉



地区委員会

◇◇◇ 令和4年度活動報告 ◇◇◇

★春の交通安全街頭指導★

入学式翌日の4月8、9～14日の5日間、朝の登校時、通学路の主要交差点や危険とされる箇所立ち、子供たちに街頭指導を行いました。「おはようございます！」「気をつけてね！」と委員から積極的に声かけを行いました。街頭に立った委員からは、「子供たちの笑顔とあいさつに癒された。」という感想がありました。横断歩道のない、交通禁止のところを渡っていく児童が居たため、安全マップを確認し学校側に申し入れを行いました。校区内には、交通量の多い道がたくさんあります。「金石往還」と呼ばれる大通りはもちろんですが、その大通りに繋がる細い道でも車がたくさん通るところがいくつかあります。子供たちが安全に登校できるよう、交通マナーを教え、特に見通しの悪い交差点での横断は、安全確認をきちんと行うことが必要であるということをご家庭でも今一度ご指導いただきますようよろしくお願いいたします。



★資源回収★

資源のリサイクル活動として年3回、資源回収を行っています。収集した新聞紙・チラシ・古紙・ダンボール・牛乳パック等で得られた収益金は、児童たちの学校生活がより良くなるよう、備品の購入（例：ジャンглジム、運動会の時に児童が着用する法被など）などに充てられています。 コロナ禍で、今年度は“密を避ける”ことや、感染状況により対応が変更になる可能性があることを考慮し、戸別回収は行わず、地点回収という方法で実施しました。

- ・小学校および各町会に1～2箇所の回収地点を設ける
- ・地域の方々に最寄りの回収地点まで持参してもらう（8時30分～9時30分の間）
- ・各回収地点より、石山商店へ搬入する
- ・回収および搬入、分別作業は地区委員および野郎会、執行部の有志のみで行う

◇第1回 6月 5日（日）（総重量 5,590kg 収益金 24,850円）

◇第2回 11月20日（日）（総重量 4,670kg 収益金 25,620円）

◇第3回 3月 5日（日）実施予定



限られた人数と時間の中で各町会への案内、人員の割振り、当日の作業と大変ではありましたが、皆様の協力のおかげで大きなトラブルもなく実施することができました。

今年度はこのような地点回収という方法で行いましたが、今回実施した中での問題点（回収地点まで運ぶ手段がない場合の対応、規模が小さくなることで回収量が減少する等）を洗い出し、改善しながら、今後も資源回収を続けていきたいと思えます。引き続き、ご理解、ご協力をお願いいたします。

★牛乳パックの回収★

児童玄関横に設置してある回収箱に集められた牛乳パックの回収、整理を行いました。毎月2回を目処に、各町会の委員が交代で作業しました。

🗨️ご家庭にある牛乳パックは、とても大切なリサイクル資源です。年3回の資源回収だけでなく、学校でも回収していますので、たくさんたまった時はお子さまを通じて学校の回収箱に入れていただくと助かります。

★フェスタ大徳★

地区委員会では野郎会、執行部の方々の協力のもと、過去にはお化け屋敷を催し、今年度は祭り・縁日をテーマに地区委員の中で実施方法や内容について検討していましたが、残念ながら去年に引き続き今年も中止となりました。

令和5年度はコロナウイルス感染の影響を気にせず、フェスタが開催されることを期待しています。その時は、子供たちはもちろん、フェスタに足を運んで下さる方々のために楽しい催しを考えたいと思います。

～1年間を振り返って～

安全街頭指導に伴うご家庭でのお声かけや、資源回収にご協力いただきありがとうございます。今年度も、だいたくつ子が大きな怪我なく登下校ができているのも、お家でのお声かけのおかげです。また、資源回収にも、積極的に参加していただけたおかげで、再利用できるものが多く集まりました。学校でも、安全な登下校の仕方や、資源の再利用の有効性について、これからも児童に伝えていきたいと思います。1年間ありがとうございました。

地区委員担当教員 中村 海

今年度もコロナ禍での活動になり、イベントが中止になるなど、地区委員として中々思うように活動できない中、資源回収など、子供たちのためにご協力いただきありがとうございました。学校内では、紙でのお知らせと併用してスクリーンという情報配信アプリの導入を行い、今後は徐々に紙でのお知らせを廃止し、ペーパーレス化に取り組む予定です。これからも、限りある資源を有効活用していけるよう、取り組んでいきたいと思います。1年間、ありがとうございました。

地区委員長 池原 博之

